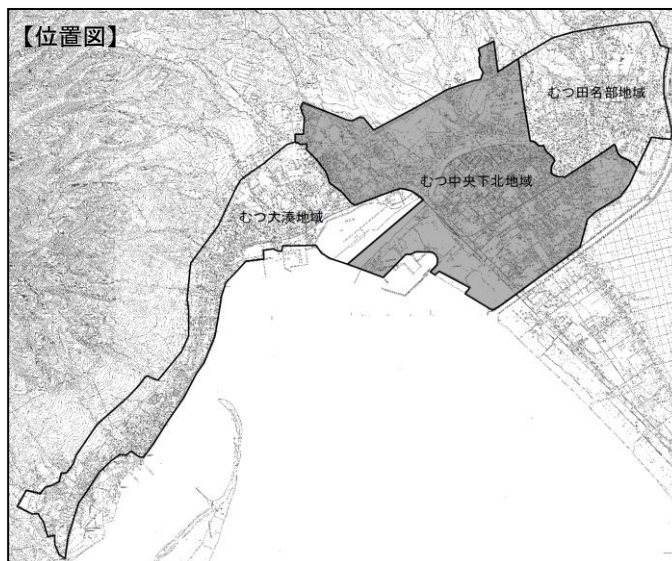


5-2-2 むつ中央下北地域

(1) 地域の現況

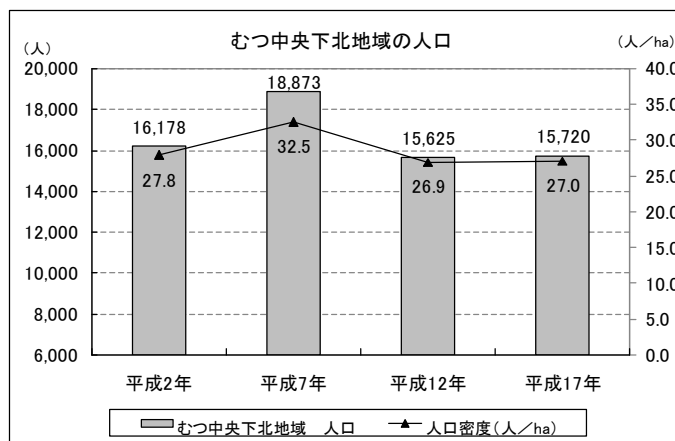
〔位置、地勢・交通条件等〕

- むつ地域の中心市街地の中央部に位置しています。
- 地域の南側にJR大湊線が通り、下北駅が立地しています。
- 地域の中央を東西に国道338号、北側を国道338号バイパス、東側を南北に国道279号バイパス、南側には赤川下北停車場線、下北停車場線が通り、地域の骨格を形成しています。
- 地域内を東西に田名部川が流れています。



〔人口の推移〕

- むつ中央下北地域の人口は近年ではほぼ横ばい傾向にあり、平成17年では15,720人となっています。
- 人口が大きく減少している平成7年から平成12年の増加率では-17.2%大きく減少しています。
- 人口密度は近年では横ばい傾向で平成17年では27.0人/haとなっています。



	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
むつ中央下北地域 人口	16,178	18,873	15,625	15,720
増加率	-	16.7%	-17.2%	0.6%
人口密度(人/ha)	27.8	32.5	26.9	27.0

資料：都市計画基礎調査

〔土地利用現況〕

- むつ中央下北地域の土地利用面積の構成比をみると、住宅地が29.4%、商業地が12.8%となっています。
- 田、畑、山林、その他自然地をあわせた自然的土地利用は27.1%となっています。

	可住地(ha)						非可住地(ha)								計	
	田	畑	山林	住宅	未利用宅地	商業用地(1)	商業用地(2)	工業用地	道路	道路以外の交通用地	公園緑地	水面河川湖沼等	公共・公益施設用地	神社仏閣		その他自然地
むつ中央下北地域	0.0	23.1	66.8	203.3	22.0	37.2	51.0	23.0	85.6	5.2	14.7	5.9	55.5	1.1	97.3	691.7
構成比	0.0%	3.3%	9.7%	29.4%	3.2%	5.4%	7.4%	3.3%	12.4%	0.8%	2.1%	0.9%	8.0%	0.2%	14.1%	100.0%

資料：都市計画基礎調査

〔主要な施設〕

- 教育・文化施設は第二田名部小学校、苫生小学校、田名部中学校、県立田名部高等学校、県立保健大学下北地域センター、下北文化会館、むつ市立図書館、むつ市民体育館が立地しています。
- 行政施設はむつ市役所、むつ合同庁舎、下北合同庁舎、むつ簡易裁判所、むつ警察署が立地しています。
- 医療・福祉施設はむつ総合病院が立地しています。
- 都市公園はむつ運動公園（運動公園）、金谷公園（地区公園）、旭町児童公園（街区公園）が立地しています。
- その他、陸奥湾に面した工業地に日本原子力研究開発機構が立地しています。

（２）地域づくりの課題

地域づくりの課題について以下の図にまとめました。

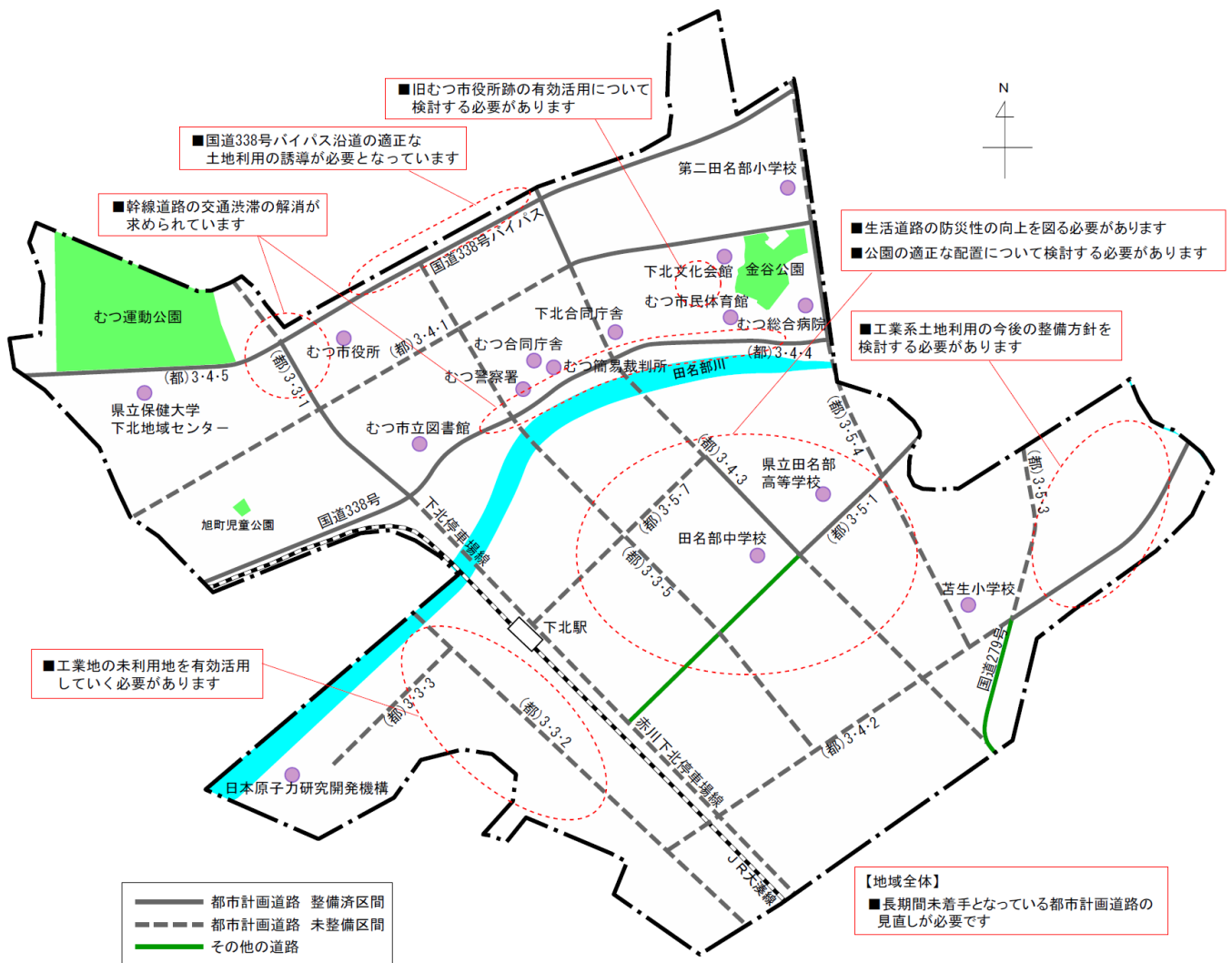
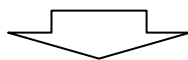


図 地域づくりの課題図

(3) 地域づくりのテーマ

■地域のキーワード

- ・本市の交通の要衝
- ・本市の交通の玄関口
- ・沿道立地型商業施設
- ・行政拠点
- ・医療拠点



【むつ中央下北地域の地域づくりのテーマ】

新たな活力でにぎわう 下北の玄関口

(4) 地域づくりの整備・保全等の方針

1) 土地利用の方針

- むつ市役所北側の国道338号バイパス沿いは、適切な土地利用の誘導を図ります。
- 田名部川より南側の住宅地は、生活環境の向上を図ります。
- 都市型居住エリアにおいては、街なか居住を推進し、コンパクトなまちづくりを目指します。
- 地域中心部の国道338号沿道の商業地は、広域的な自動車利用に対応した沿道型商業集積地として適切な土地利用の誘導を図るとともに、無秩序な商業地の拡大を抑制します。
- 地域東側の工業地は、周辺を住宅地が取り巻いており、今後の土地利用の検討を進めます。
- 下北駅西側の陸奥湾に面した工業地は、原子力関連産業などが集積する新たな工業地として基盤づくりを進めます。
- JR大湊線下北駅周辺は下北観光の玄関口として、景観の向上、環境づくりを図ります。

2) 都市施設の方針

①交通施設

- 長期間未着手である都市計画道路については、県と協議しながら見直しを行い、効率的な整備を促進します。
- 住宅地や小中学校の周辺においては狭小幅員や行き止まり道路の解消、歩道の確保、冬季対策など、生活道路の改善を進め、安全性の確保と歩行者、自転車にやさしい道路づくりを目指します。
- 公共交通機関の乗り継ぎなど、利便性の向上について、関係機関と協議しながら検討を進めます。

②公園・緑地

- むつ運動公園は、市民の交流、レクリエーションの拠点として維持・保全を図ります。
- 金谷公園はむつ総合病院との連携を考慮した活用を図ります。
- 田名部川の南側の住宅地では、公園の誘致距離を考慮し、適正な公園配置を検討します。

③河川・下水道

- 公共下水道の未整備区域においては、計画的な整備を推進します。
- 魚や野鳥が生息できるような河川整備や、住民が自然とふれあうことができる親水空間の創出を目指します。

④公益的施設

- むつ総合病院は、医療拠点としての機能を維持するとともに、高度医療機能の集積を図ります。
- 金谷地区の旧むつ市役所庁舎の有効利用を検討します。

3) 地域環境形成の方針

①自然環境

- 田名部川沿いの遊歩道を活用し、景観の維持、魅力の向上を図ります。

②都市景観

- 既存住宅地については敷地境界の生け垣化や道路沿道への植樹など、景観・防災・環境に配慮した住宅地づくりを目指します。

4) 地域づくりの方針

地域づくりの方針について以下の図にまとめました。

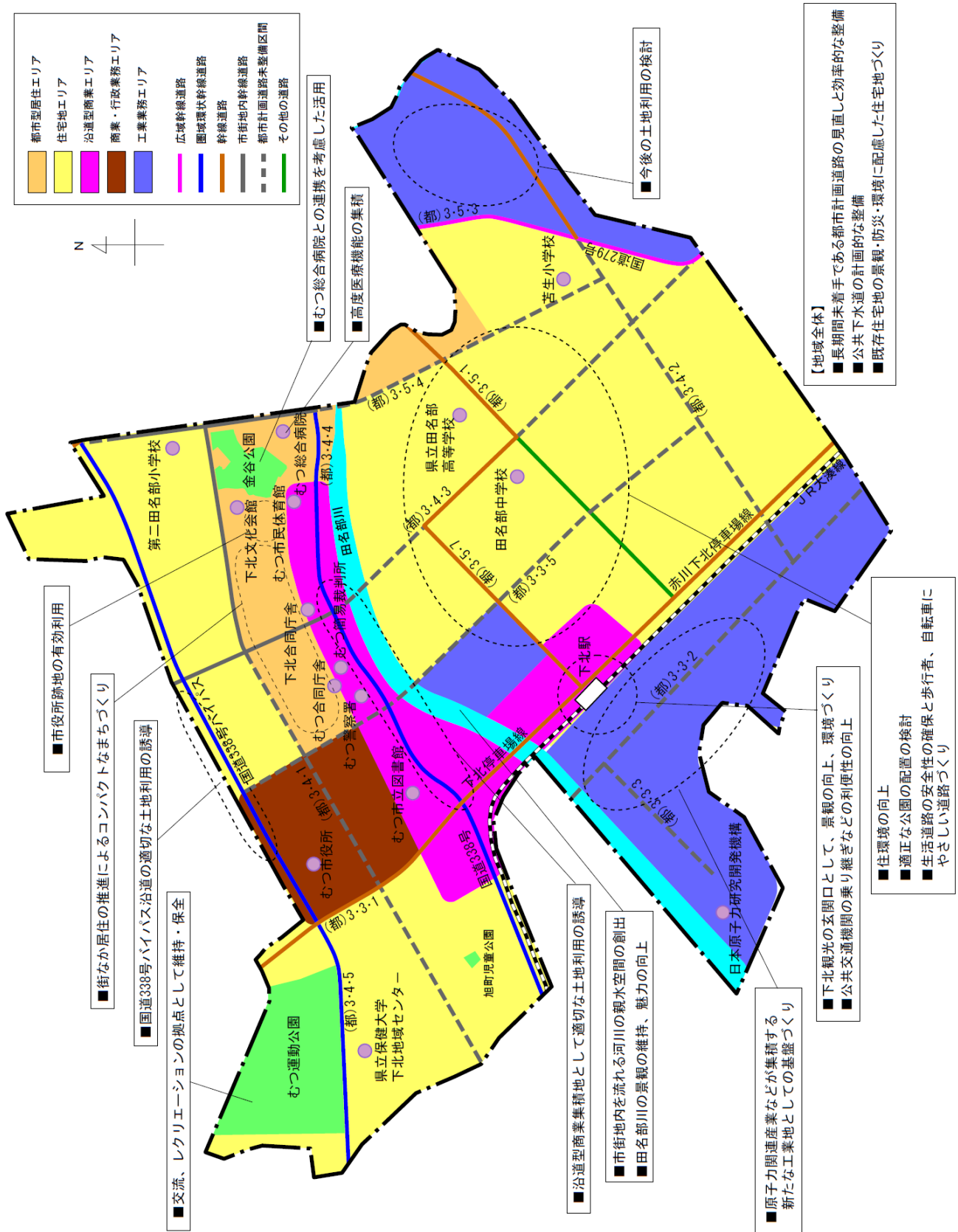


図 地域づくり方針図